

2023年3月期 第2四半期

クリモトグループ決算説明資料

The logo for Kurimoto, featuring the word "KURIMOTO" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "K" is stylized with a red horizontal bar extending from its left side.

目次

1. 2023年3月期 第2四半期実績
2. 2023年3月期 業績予想
3. トピックス
4. 株主還元

参考資料

1. 2023年3月期 第2四半期実績

1 - 1 決算概要

(単位：百万円)

<連結>

	2022.3 2Q 実績		2023.3 2Q 実績		前年比 (B-A)	2023.3 直近予想※	
	(A)		(B)			(C)	
売上高	45,704	-	54,054	-	8,349	115,000	-
営業利益(率)	287	(0.6%)	2,277	(4.2%)	1,990	5,000	(4.3%)
経常利益(率)	364	(0.8%)	2,350	(4.3%)	1,985	5,000	(4.3%)
四半期純利益(率)	193	(0.4%)	1,633	(3.0%)	1,440	3,700	(3.2%)

※直近予想値 (C) : 2022年10月31日公表

売上高

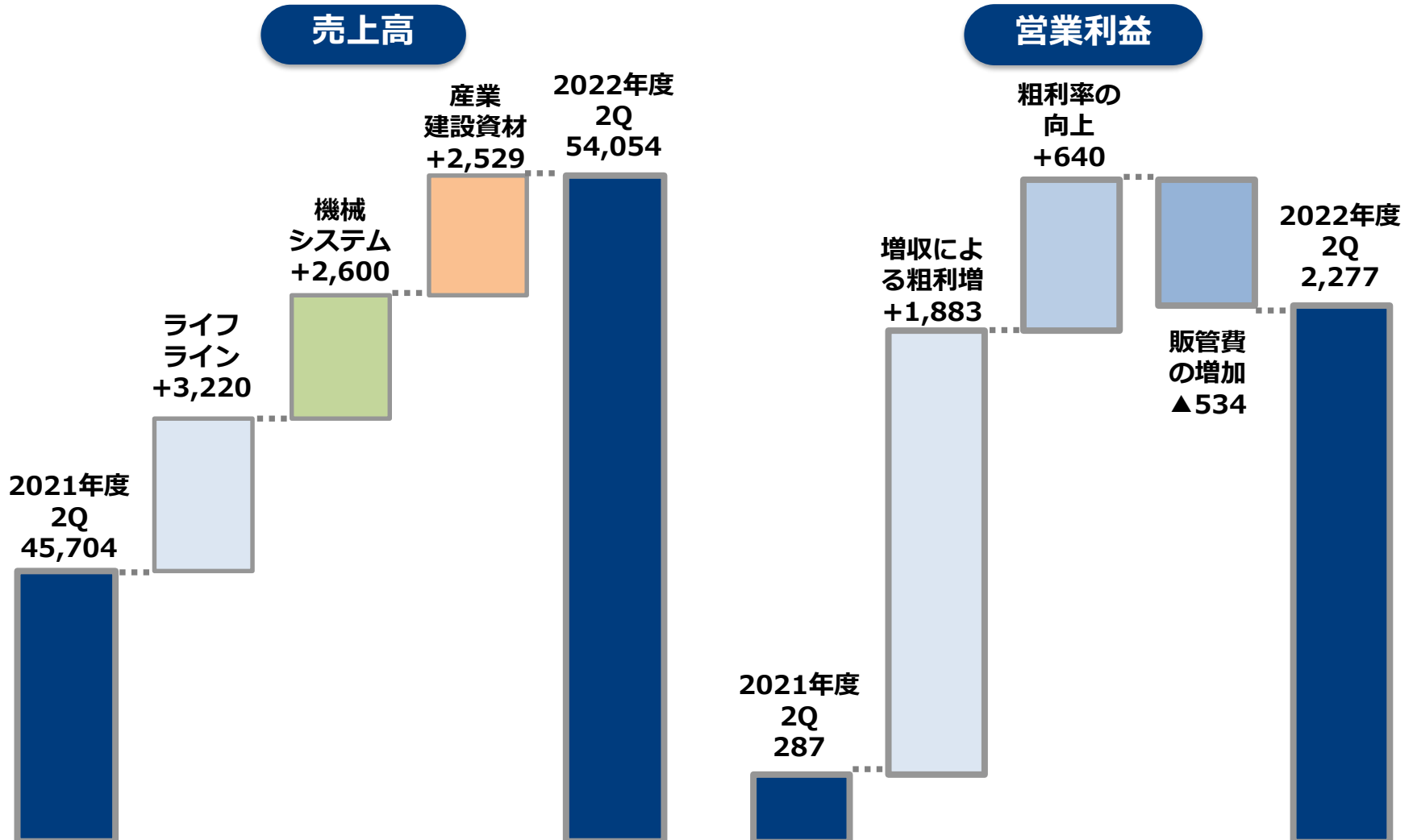
官需分野においては堅調に推移し、民需分野においては新型コロナウイルス感染症による投資の手控えから回復基調にあり、全セグメントで増収。前年同期比 8,349百万円の増収。

営業利益

売上高増加にともなう粗利益増加などにより、前年同期比1,990百万円の増益。

1 - 2 売上高・営業損益比較

(単位：百万円)



1 - 3 セグメント別業績

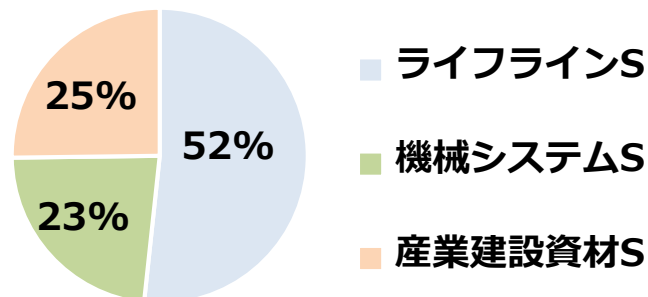
(単位：百万円)

		2022.3 2Q 実績 (A)	2023.3 2Q 実績 (B)	前年比 (B-A)
ライフライン セグメント	売上高	24,711	27,932	3,220
	営業利益	741	1,543	802
	(率)	(3.0%)	(5.5%)	(2.5pts)
機械システム セグメント	売上高	9,879	12,479	2,600
	営業利益	▲ 389	260	650
	(率)	(▲3.9%)	(2.1%)	(6.0pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	11,113	13,642	2,529
	営業利益	▲ 86	494	580
	(率)	(▲0.8%)	(3.6%)	(4.4pts)

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算とは一致しません。

セグメント別売上高構成比率

※2023.3 2Q 実績 (連結)



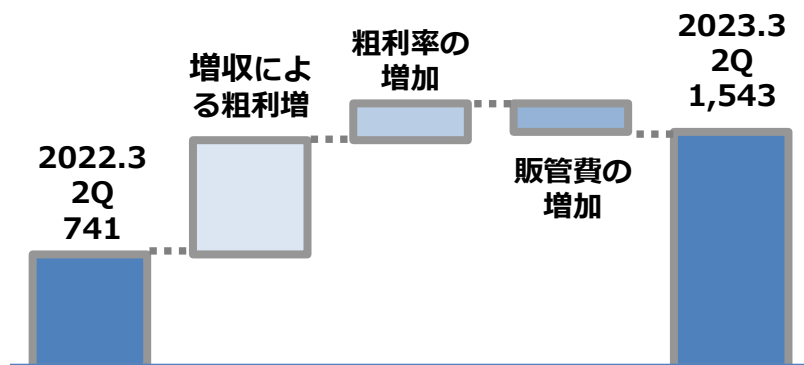
1 - 4 事業セグメント別概況

ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2022.3 2Q 実績 (A)	2023.3 2Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 直近予想 (通期) (C)
売上高	24,711	27,932	3,220	56,700
営業利益	741	1,543	802	3,200
(率)	(3.0%)	(5.5%)	(2.5pts)	(5.6%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

官需分野の需要は底堅く、販売子会社、パイプシステム部門およびバルブ部門の売上が増加したことにより前年同期比3,220百万円の増収

営業利益

原材料価格の高騰が影響したものの、付加価値の高い商品の売上が増加したことにより前年同期比802百万円の増益

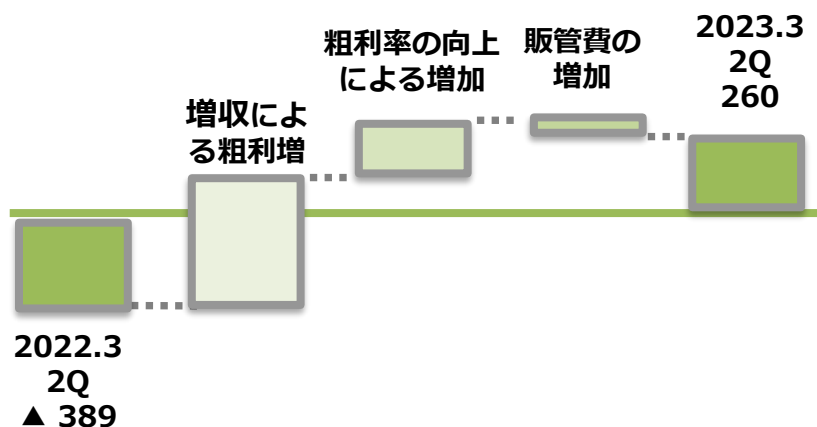
1 - 4 事業セグメント別概況

機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2022.3 2Q 実績 (A)	2023.3 2Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 直近予想 (通期) (C)
売上高	9,879	12,479	2,600	28,300
営業利益	▲ 389	260	650	900
(率)	(▲3.9%)	(2.1%)	(6.0pts)	(3.2%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

機械部門においてプレス機関連の売上が増加したことなどにより、素形材部門においては破碎機、鋳物部品の出荷が増加したことなどにより、前年同期比2,600百万円の増収

営業利益

機械部門、素形材部門がともに増収となった影響などにより、前年同期比650百万円の増益

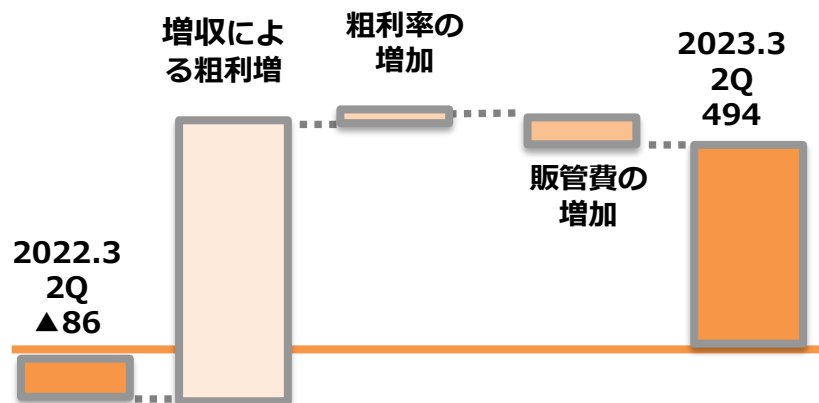
1 - 4 事業セグメント別概況

産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2022.3 2Q 実績 (A)	2023.3 2Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 直近予想 (通期) (C)
売上高	11,113	13,642	2,529	30,000
営業利益	▲ 86	494	580	900
(率)	(▲0.8%)	(3.6%)	(4.4pts)	(3.0%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門において空調製品、土木製品の出荷が増加したことなどにより、化成品部門においては下水道向け製品やFRP製検査路の出荷が増加したことなどにより、前年度比2,529百万円の増収

営業利益

原材料価格の高騰の影響もありましたが、建材部門、化成品部門がともに増収となった影響などにより、前年度比580百万円の増益

2. 2023年3月期 業績予想

2 - 1 2023年3月期 業績予想

(単位：百万円)

連結	2022.3 実績 (A)		2023.3 期初予想 (B)		2023.3 直近予想 (C)		前年比 (C-A)	
売上高	105,954	-	115,000	-	115,000	-	9,046	-
営業利益(率)	4,172	(3.9%)	4,500	(3.9%)	5,000	(4.3%)	828	(0.4pts)
経常利益(率)	4,179	(3.9%)	4,500	(3.9%)	5,000	(4.3%)	821	(0.4pts)
当期純利益(率)	2,917	(2.8%)	3,200	(2.8%)	3,700	(3.2%)	783	(0.4pts)
ROE	-	(4.5%)	-	(4.8%)	-	(5.5%)	-	(1.0pts)

官需分野の需要の底堅さに加え、民需分野においても新型コロナウイルス感染症による一時的な投資の手控えから機械部門を中心に回復傾向にあり、グループ全体では前年度比増収増益の見込み。

2-2 2023年3月期 業績予想 (セグメント別)

(単位：百万円)

連結		2022.3 実績 (A)	2023.3 予想 (B) ※1	前年比 (B-A)	2023.3 中計当初計画 (C) ※2	計画修正 (B-C)
ライフライン セグメント	売上高	57,478	56,700	▲ 778	54,300	2,400
	営業利益	3,016	3,200	184	2,500	700
	(率)	(5.2%)	(5.6%)	(0.4pts)	(4.6%)	(1.0pts)
機械システム セグメント	売上高	22,095	28,300	6,205	28,600	▲ 300
	営業利益	437	900	463	700	200
	(率)	(2.0%)	(3.2%)	(1.2pts)	(2.4%)	(0.8pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	26,381	30,000	3,619	32,100	▲ 2,100
	営業利益	1,040	900	▲ 140	1,300	▲ 400
	(率)	(3.9%)	(3.0%)	(▲ 0.9pts)	(4.0%)	(▲ 1.0pts)

ライフラインセグメント：北海道での震災復興事業が終了したことにより、売上は減少するものの、原価低減活動により減収増益の見込み

機械システムセグメント：新型コロナウイルス感染症による一時的な投資の手控えから、機械部門を中心に回復を見込み、増収増益の見込み

産業建設資材セグメント：都市部での建設投資の高まりはあるものの原材料の高騰の影響を受け増収減益の見込み

※1 2022年11月4日現在の予想数値

※2 2021年5月27日公表「新中期3カ年経営計画」

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

2-3 中期3カ年経営計画（定量目標）

（単位：百万円）

	2020年度 (実績)	中期3カ年経営計画						2023年度 (計画)
		2021年度			2022年度			
		(計画)	(実績)	(差異)	(計画)	(予想)	(差異)	
売上高	116,596	107,000	105,954	▲ 1,046	115,000	115,000	0	120,000
営業利益	4,673	3,500	4,172	672	4,500	5,000	500	5,500
売上高 営業利益率	4.0%	3.3%	3.9%	0.6%	3.9%	4.3%	0.4%	4.6%
ROE	5.2%	3.6%	4.5%	0.9%	4.8%	5.5%	0.7%	5.4%

2021年度業績は目標とする「売上高1,070億円」「営業利益35億円」に対し、売上高は目標に届かなかったものの、営業利益は目標を上回る結果となった。主な要因は、売上高については、第4四半期に売上を予定していた案件の延期などの影響で、営業利益については、減収による粗利益減少、原材料費の高騰などの影響はあったものの、販売価格の見直し、製造原価でのコスト低減効果、工事案件での利益改善などが寄与した。

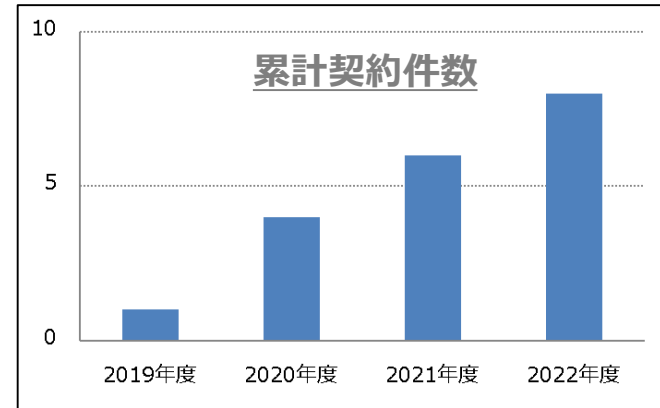
2022年度業績見込みは、当社グループの主要事業セグメントである国内公共事業に関連する官需分野の需要は底堅い事、民需分野においても機械部門を中心に新型コロナウイルス感染症による一時的な投資の手控えからの回復が見込まれる事から売上高1,150億円は据え置き、営業利益は50億円に上方修正した。なお、中期3カ年計画での2023年度は計画値のまま据え置く。

※計画値：2021年5月27日公表「クリモトグループ中期3カ年経営計画 2021～2023」

3. トピックス

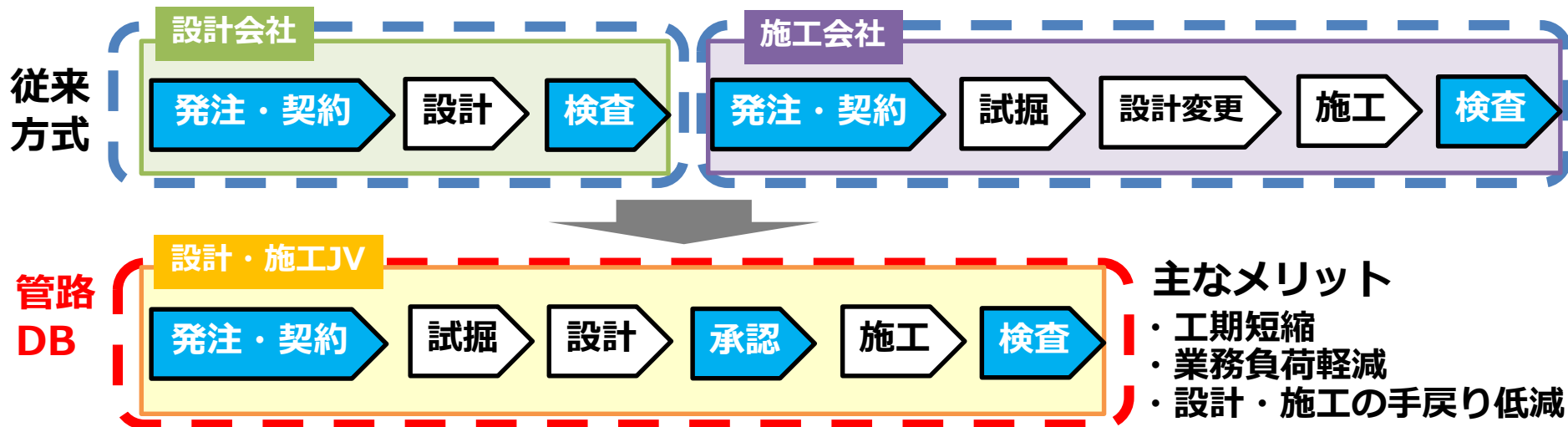
3. トピックス

✓ 上水道管路DB (Design Build) 方式 2022年度上半期2件受注



- ① 奈良県 安堵連絡管第1工区整備事業
- ② 兵庫県 播磨町 東本荘・新島地区基幹管路布設替工事

参考：従来方式と管路DBの違い



※Design Build (= 設計・施工一括発注方式) ※受注案件詳細は参考資料を参照

3. トピックス

✓ 「プラチナくるみん」認定

「子育てサポート企業」として両立支援制度を導入し活用を促進、高い水準の取り組みが評価され認定

＜直近の主な取り組み＞

- 男性の育児休業、配偶者出産休暇の取得促進
- 一斉有給休暇、連続休暇などによる有給休暇の取得促進
- 在宅勤務制度や育児短時間勤務などの柔軟な働き方を実現する制度の施策・利用推進



4. 株主還元

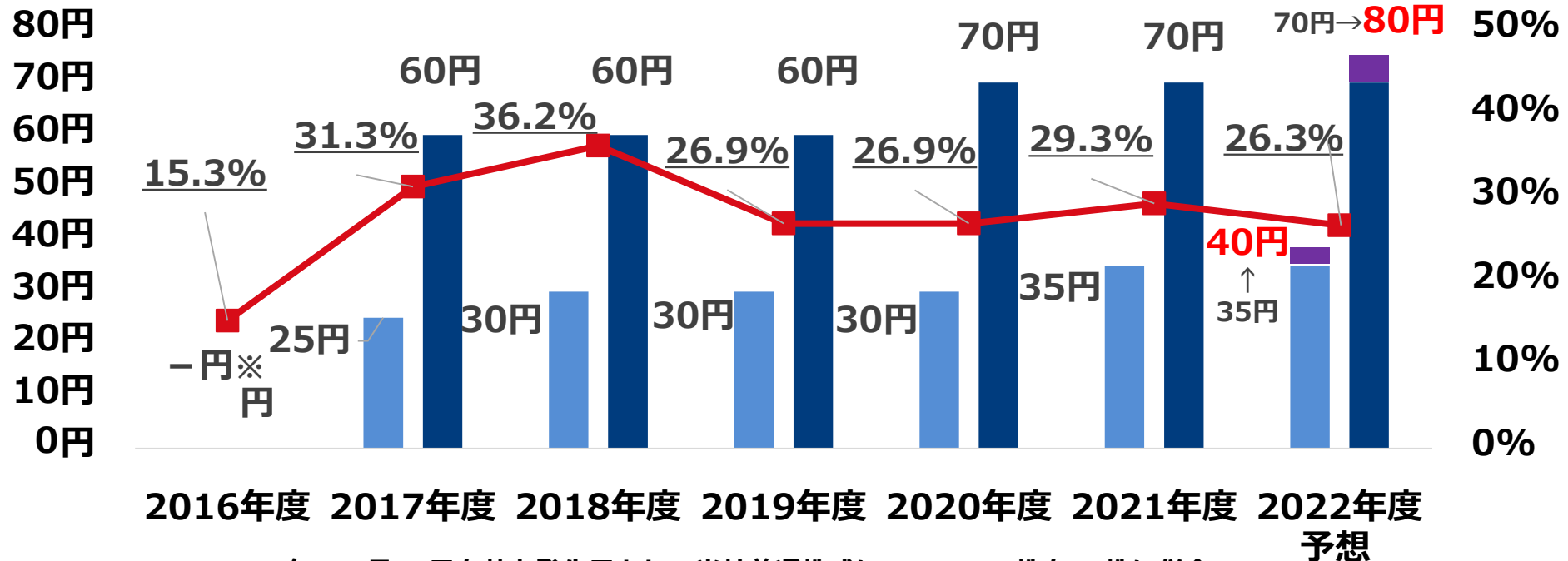
4 株主還元に関する指標

成長投資とのバランスを鑑みながらステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、配当性向30%超を目指しつつ、安定した株主還元を実施してまいります。

一株あたり配当額・配当性向推移(連結)

■ 中間・期末配当額：各5円増額

■ 中間配当額 (円) ■ 年間配当総額 (円) ■ 年間配当性向 (%)



※ 2016年10月1日を効力発生日として当社普通株式について10株を1株に併合。2016年度の年間配当額合計は単純に合算できないため「-」として表示しています。

参考資料

参考資料 1 会社概要



創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2022年3月末現在）

従業員数：
2,120名（2022年3月末現在、連結）
1,333名（2022年3月末現在、単体）

参考資料 1 会社概要

事業所：

○工場・物流拠点（計13か所）

大阪府内4か所

滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点（8か所）

大阪、東京、札幌、仙台、

名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点（2か所）

ヨーロッパ事務所（ドイツ）、

ジャカルタ事務所（インドネシア）

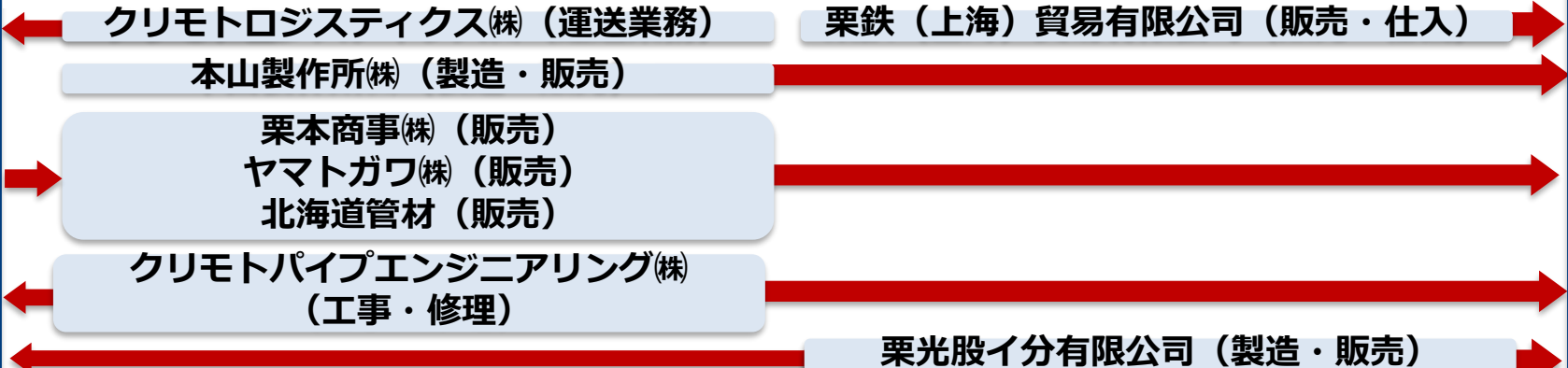


関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
 ジャパンキャスティング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
 栗鉄（上海）貿易有限公司<中国>など 計21社

参考資料 1 会社概要

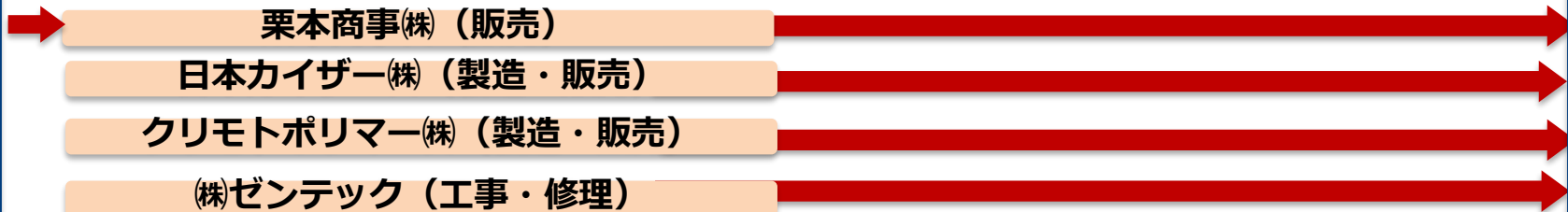
● ライフラインセグメント



● 機械システムセグメント



● 産業建設資材セグメント



当社

得意先

参考資料 1 会社概要

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。
～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

経営方針

「四方よし」の精神で将来にわたって、社会へ貢献できる企業グループを目指す。

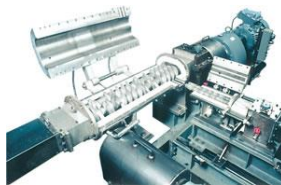
参考資料 2 事業ドメイン

社会 インフラ

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設



メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備



産業設備

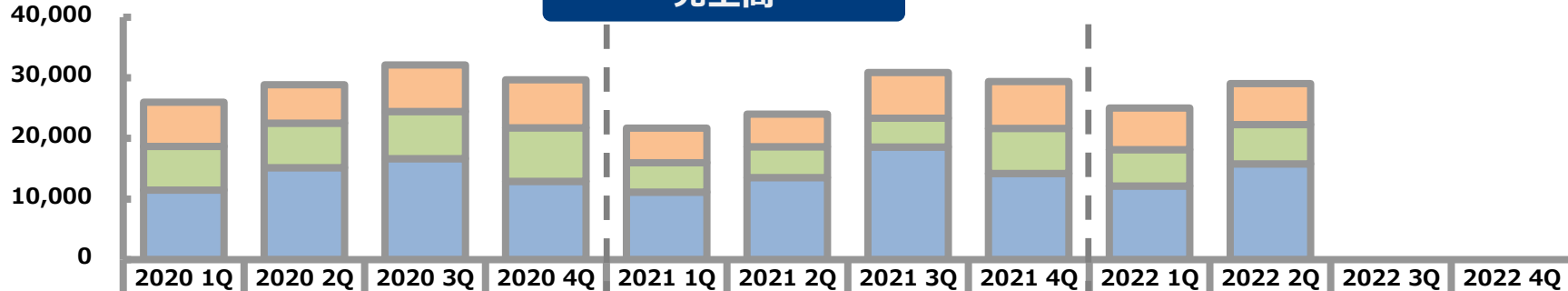
参考資料 3 事業部門の構成と主な製品 (単体)

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業者
		バルブシステム	水道用バルブ、産業バルブ	水道事業者、製鉄・電力等各種プラント、ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、二次電池関連メーカー 他
		プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業	
		素形材エンジニアリング	耐摩耗鋳物、破碎機	鉄鋼、セメント、電力、砕石関連企業
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、ゼネコン、フィルム関連メーカー

参考資料 4 セグメント別四半期業績推移 (連結)

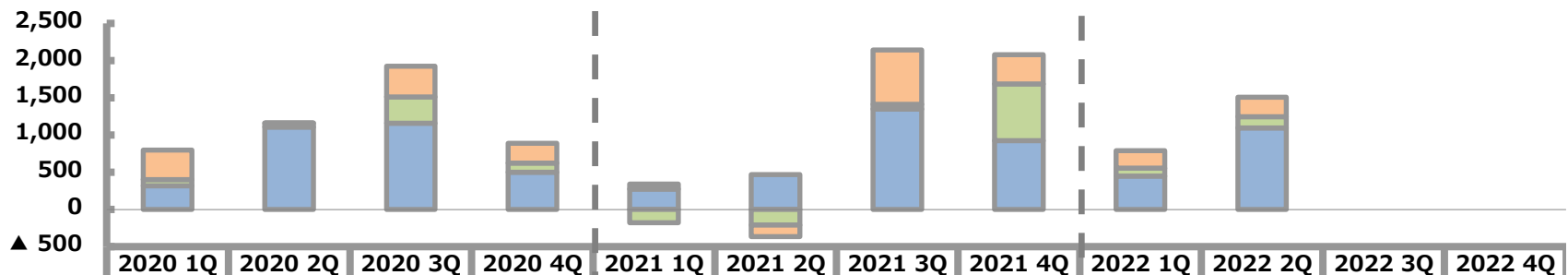
売上高

(単位：百万円)



産業建設資材	7,311	6,345	7,656	7,914	5,708	5,405	7,536	7,732	6,881	6,761		
機械システム	7,196	7,356	7,786	8,846	4,822	5,057	4,759	7,457	6,002	6,477		
ライフライン	11,455	15,174	16,664	12,892	11,155	13,556	18,582	14,185	12,136	15,796		

営業利益



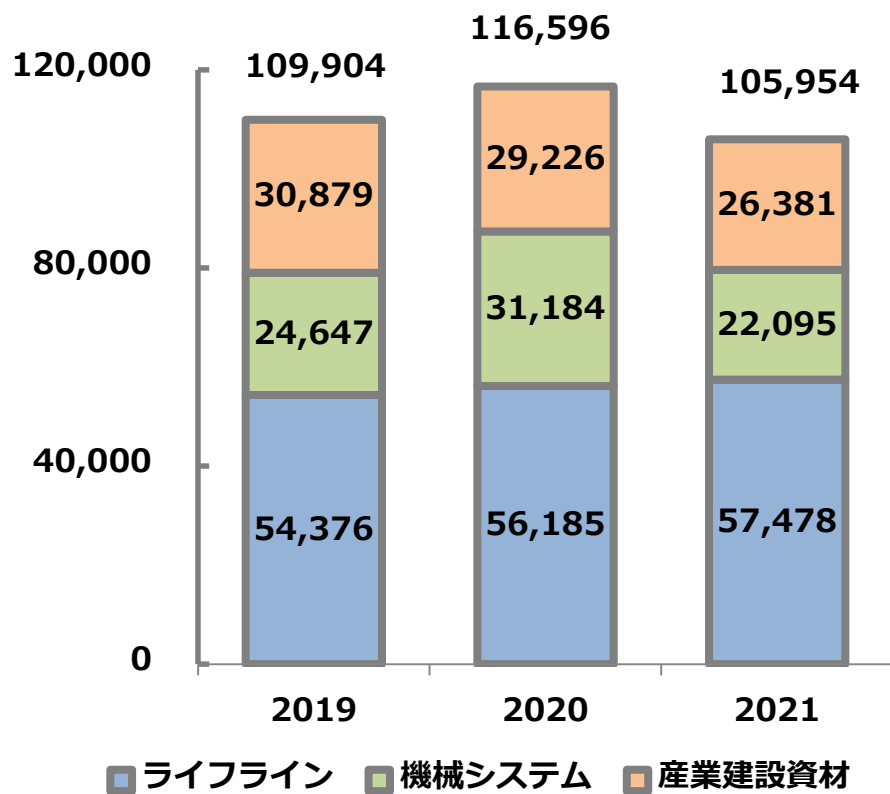
産業建設資材	395	1	414	264	69	▲ 155	734	392	234	260		
機械システム	84	52	352	122	▲ 179	▲ 210	63	763	108	152		
ライフライン	318	1,108	1,159	502	274	467	1,349	926	447	1,096		

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

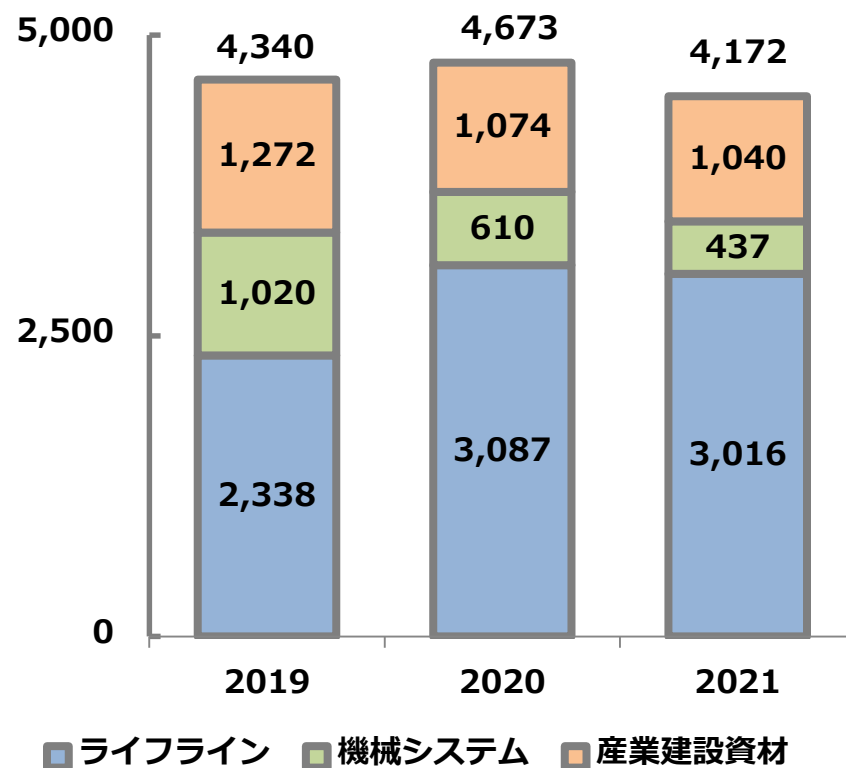
参考資料 5 セグメント別業績推移

(単位：百万円)

売上高

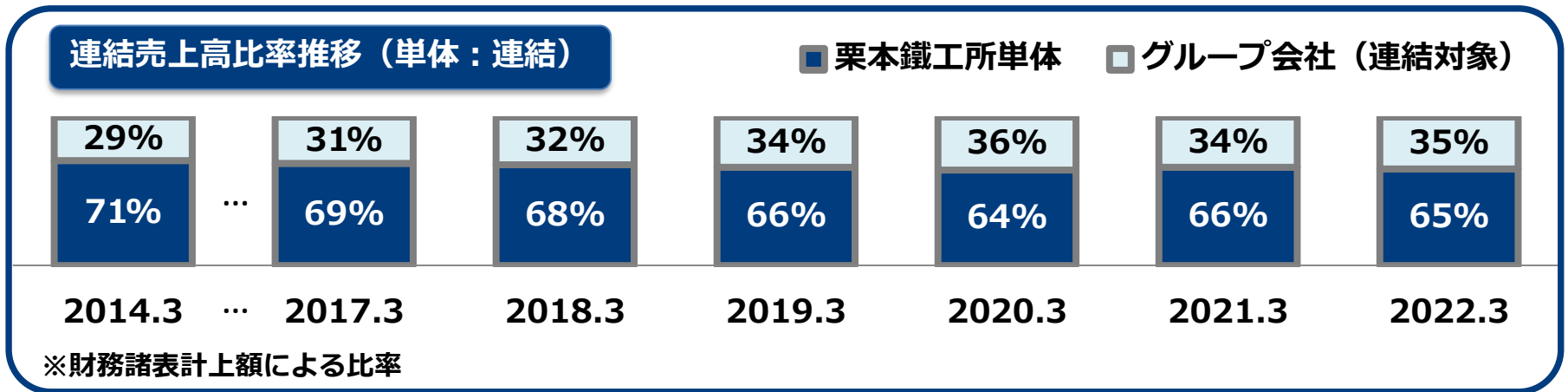
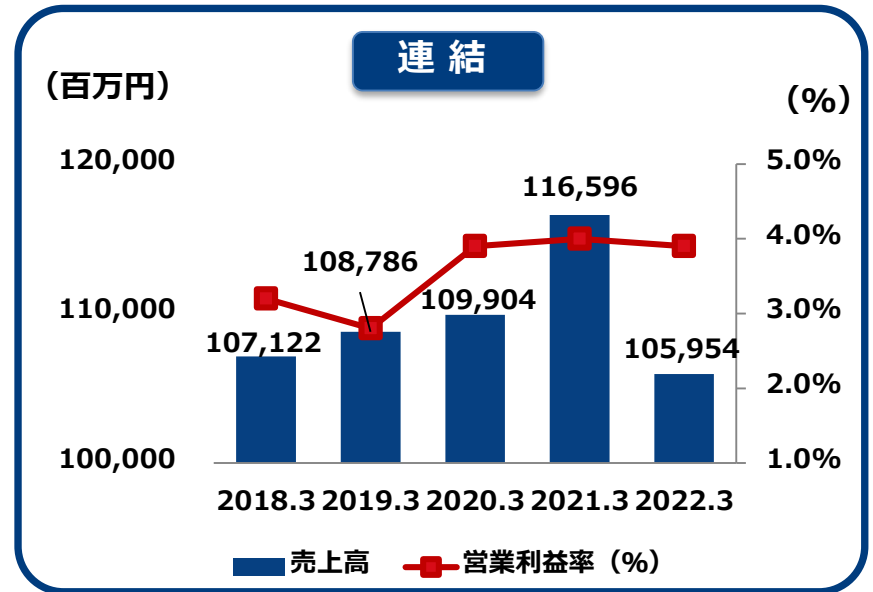
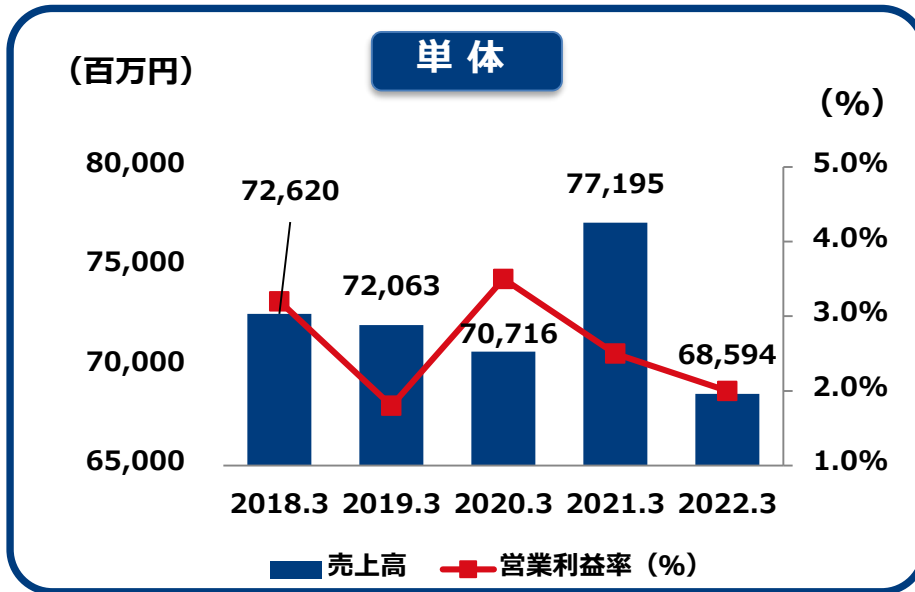


営業利益



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料 6 売上・営業利益率推移 (単体・連結)



参考資料 7 水道管路DB方式 受注実績

● 水道管路DB（設計・施工一括発注）方式 主な受注実績

No.	ご発注者	受注	竣工	事業名称	契約者	事業規模
1	長野県 小諸市	2019年度	(予定) 2022年度	送配水管更新業務 (丸山排水池～坂の上配水池)	栗本鐵工所	3.9億円
2	大阪府 泉佐野市	2020年度	(予定) 2022年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	3.1億円
3	兵庫県 神戸市	2020年度	(予定) 2022年度	中央(東町他)配水本管取替事業	栗本鐵工所・港建設・安藤建設 特定建設工事共同企業体	6.2億円
4	奈良県 広陵町	2020年度	2021年度	広陵町馬見南配水本管布設 耐震設計・施工業務	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	2.5億円
5	奈良県 広陵町	2021年度	(予定) 2024年度	広陵町配水本管布設 耐震設計施工業務	村本・栗本・潮技術コンサル 共同企業体	5.4億円
6	岐阜県中津川市	2021年度	(予定) 2024年度	中津川駅周辺管路更新事業	クリモト°イ°エンジニアリング ・保母興産・新日本設計グループ	4.4億円
7	奈良県	2022年度	(予定) 2027年度	連絡管第1工区整備事業	栗本・村本・潮技術コンサル 特定共同企業体	—
8	兵庫県 播磨町	2022年度	(予定) 2026年度	東本荘・新島地区基幹管路 布設替工事	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	4.4億円

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所 総合企画室
TEL:06-6538-7719
<http://www.kurimoto.co.jp/>

KURIMOTO